

提 案 概 要

実施期日	7月29日(火)【午後】
部会名	小学校 音楽部会

1 提案テーマ 『心をひとつに、思いを表現するよこびが味わえるような音楽活動をめざして』

2 単元(題材) 「ハーモニーを感じて」 —5・6年合同音楽会へ向けての取り組みから—

3 学年 第5・6学年

4 平成25・26年度神奈川県小学校教育課程研究会研究主題とのかかわり

②思いや意図をもって表現(歌唱、器楽、音楽づくり)する力や音楽全体を味わって鑑賞する力を育成する学習指導の工夫

5 学習指導要領との関連(内容項目)

第2章 第6節 音楽 第2 各学年の目標及び内容 [第5学年及び第6学年] 2内容

A表現(1)イ 歌詞の内容、曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって歌うこと。

(2)イ 曲想を生かした表現を工夫し、思いや意図をもって演奏すること。

6 実践に向けての課題意識

本校の5・6年合同音楽会は、音楽の年間指導計画に位置付けて毎年取り組んでいるもので、今年で12年目を迎える。各クラス合唱と合奏を1曲ずつ演奏するが、曲を自分たちで選ぶことにより意欲的な活動につながっている。

目標に向かってみんなで心をひとつに表現する活動を通して、①合唱・合奏する楽しさや美しさを感じ取ること、②自分たちの思いを表現につなげるために必要な音楽の基礎の理解を深めること、を大切にしながら取り組ませたい。また、お互いに聴き合うことで良い刺激となり、より豊かな表現を目指したいと考えた。

7 実践の概要

① 音楽会に向けて意欲的に取り組むための手立て

- ・目標と方法の共有
- ・選曲
- ・担当声部や楽器の希望
- ・音響の良いステージ利用の効果
- ・実行委員の活動
- ・担任との連携

② 主体的な活動を促すための工夫

- ・範奏のテンポ
- ・パート別音源
- ・楽譜の工夫(移調など)
- ・関連資料の利用
- ・友達との関わり
- ・効果的なパートの役割を知る
- ・練習時間の工夫

③ より豊かな表現にするための指導の工夫

- ・拍の流れ
- ・リズム
- ・それぞれのパートの役割の大切さ
- ・音程の取り方
- ・発声
- ・姿勢
- ・発音
- ・口の形
- ・ハーモニーの部分練習
- ・バランス
- ・いろいろな鑑賞の経験
- ・歌詞の内容
- ・イメージを描く
- ・抑揚とメロディー
- ・曲想の変化
- ・伴奏の変化を感じる
- ・音色
- ・バランス
- ・学年で合唱の聴き合い
- ・自分たちの演奏の振り返り
- ・本番を終えて
- ・他学年とのメッセージ交換
- ・クラス内で他楽器を体験

8 成果と課題

音楽会に向け意欲を持続させて取り組むことができたのは、①自分たちで選曲できたこと、②5・6年合同で活動することにより互いに刺激になったこと、③音響設備の整った本格的なホールで発表できたこと、④子どもたちがいつでも立ち返ることができる目標があったこと、⑤担任の協力があつたこと、⑥準備物の工夫により主体的に練習することができたこと、などによるものと考えられる。また、自分たちの思いを表現するためには、内容や曲想を捉えると共に音楽の基礎の理解や技能の習得が欠かせないが、日頃の学習活動と結びつけることにより、それらを無理なく習得し演奏に生かすことができたと思う。

校舎の構造上、音楽活動をする上で場所や時間の制約はあるが、その中でも子どもたちの自主的な活動を支えられるよう学習環境を整えたい。また、より豊かな表現を目指して授業内容の充実を図り、担任との連携を大切にしながら、児童が生き生きと学習できるようにしていきたい。

9 予想される協議の柱

① より豊かに表現させるための思いのもたせ方について

② 思いを表現につなげるために大事にしていることや指導の工夫について